

平成23年度北海道新技術・新製品開発賞
奨励賞：(室蘭テクノセンター支援事業活用)

圧力調整機能付き高効率液体サイクロン装置



マトラスターテクノクラシー株式会社 (室蘭市香川町)

「ラップ用研磨剤リサイクル装置」：ガラス・水晶などを研磨する時に使用する高価なラップ用研磨剤を回収し、再利用 (リサイクル) する装置。

財団法人 室蘭テクノセンター

テクノだより

No. **003**

2012

TECHNO-DAYORI



室蘭テクノセンターは、室蘭地域(室蘭市、登別市、伊達市)の
中小企業振興を図る支援機関として、企業の技術力、経営力を高め、
地域産業の発展を目指します。

発行にあたって

日頃から、賛助会員をはじめ、室蘭市・登別市・伊達市、室蘭工業大学の皆様には、当財団の運営に対しまして、格別なるご指導、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

はじめに、昨年3月に発生した東日本大震災は、東北地方を中心に地震や津波により甚大な被害をもたらしました。また、その後の福島第一原子力発電所の事故では放射性物質の飛散・漏出が発生し、これを防ぐための対策が講じられておりますが、汚染物質の除染や避難者の帰宅など、事態の収束にはまだまだ目処が立っておらず、地域住民の生活や経済活動に大きな影響を与えております。

一方、国内経済は、震災復興につとめる中で緩やかに持ち直しの動きが見えるものの、最近の欧州各国での財政危機や円高による経済の減速、さらに電力不足は、わが国の景気回復を鈍化させつつあり、その影響は地域の生産活動にも及んでおり、地域企業にあっては厳しい環境の下で事業展開されているものと受け止めております。

こうした状況下にあります、地域企業の要望に応えるべく、当財団といたしましては、「ものづくり創出」、「市場開拓」、「経営支援」、そして「産学官連携」を基本に、鋭意支援事業を展開しております。

今年は、室蘭市におきましては開港140年、市制施行90年の節目の年でもあります。登別市、伊達市を含めたこの地域の中小企業の振興・発展のため、関係機関との連携に努め、当財団の役割を十分に発揮していく所存でございますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、当財団が平成23年度に取り組んだ各種の事業をまとめた「テクノだより」が出来上がりましたので、お届けさせていただきます。

平成24年 9月 吉日

財団法人室蘭テクノセンター

理事長 栗 林 和 徳

室蘭テクノセンターの各種事業支援

ものづくり創出支援事業

室蘭地域（室蘭市・登別市・伊達市）に蓄積された技術・人材などの産業資源を活用し、起業化から新分野への展開、技術研修まで幅広く対応し一体化した支援を行うことで、新製品・新技術の開発、新事業の創出を促進します。

《補助事業メニュー》

1. 新製品・新技術開発の芽育成支援事業

事業化等の可能性のある新製品・新技術の開発に対する調査研究事業または基礎技術確立事業など。

▶23年度は8件の調査研究を支援しました。

2. 商品化推進支援事業

「マーケティング調査、消費者ニーズ調査などの需要調査」や「新製品のデザイン開発や既製デザインの改善実用化事業」、「生産技術等の開発や既存技術の改善」など。

▶23年度は3件の市場調査を支援しました。

3. 新製品・新技術事業化支援事業

市場投入の実現性が高い新製品・新技術の研究開発事業など。

▶23年度は2件の研究開発を支援しました。

4. 創業支援事業

新分野への事業展開のための事務所経費を助成。

5. 市場開拓支援事業

新製品・新技術の展示会等への出展や開催、ホームページ及びパンフレットなどの企画・作成や公的商談会等への参加など。

▶23年度は2件のホームページやパンフレットの作成及び展示会への出展を支援しました。

6. 技術・技能習得研修支援事業

技術・技能・デザイン開発等の習得のための先進企業や試験研究機関への技術者派遣、又は専門技術者招聘等による人材教育や研修事業など。

7. 資格取得支援事業

製造業にかかる技能士の取得経費を支援。

《補助対象者》中小企業者及び任意の団体等

《補助限度額》室蘭テクノセンターのホームページ等をご覧ください。

これまでの「ものづくり創出支援事業」制度利用実績一覧

事業名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
新製品・新技術開発の芽 育成支援事業	15	13	13	11	5	5	8
商品化推進事業	3	2	1	1	1	5	3
新製品・新技術開発 助成事業	2	0	0	0	2	4	2
市場開拓支援事業	3	4	3	4	6	3	2
創業支援事業	0	0	2	3	2	0	0
ISO 認証取得支援事業	2	1	—	—	—	—	—
技術・技能習得支援事業	—	—	4	2	0	0	0
資格取得支援事業	—	—	1	2	0	1	0
計	25	20	24	23	16	18	15

(件数)

平成23年度「ものづくり創出支援事業」による成果の一部を紹介



- 【商品化推進支援事業を活用】「エゾシカ・ヘルシーハンバーグ」(写真A)の開発。
「ちよっと汁有り担々麺」(写真B)の開発とパッケージデザイン。
- 【市場開拓支援事業を活用】「ジャパンホームショー」に出展。新製品のPRを行った。(写真C)
- 【新製品・新技術事業化支援事業を活用】快眠用具「ぐっスリープ」の開発。(写真D)

ものづくり創出支援事業の補助対象を大幅に拡充しました！

平成24年度から、室蘭地域（室蘭市・登別市・伊達市）の中小企業をサポートする「ものづくり創出支援事業」を大幅に拡充し、より使いやすくなりました。

同事業は平成15年度からスタートし、公募により助成対象を決定しています。

毎年4月から募集を開始し、当財団のホームページ等でお知らせしています。

○主な改正ポイントは下表のとおりです。

事業メニュー	事業内容・主な改正ポイント	助成基準等		備考
		補助率	限度額	
開発の芽 育成支援事業	事業化等の可能性のある製品・技術の新規開発又は大幅な改善。 ○新製品・新技術に限らず、既存製品・技術の大幅な改善を伴う事業も対象とする。 ○労務費の一部を補助対象とする。 ○補助限度額を増額。	4/4以内 (1年目)	80万円 (1年目)	室蘭工業大学との共同研究の場合、共同研究加算(上限42万円)を加算することができる。
		3/4以内 (2年目)	60万円 (2年目)	
製品・技術 事業化支援事業	市場投入の実現性が高い製品・技術の新規開発又は大幅な改善。 ○新製品・新技術に限らず、既存製品・技術の大幅な改善を伴う事業も対象とする。 ○労務費の一部を補助対象とする。	2/3以内	200万円	
商品化推進 支援事業	消費者ニーズ調査などの需要調査や、新製品のデザイン開発、既製デザインの改善などの実用化事業。 ○食品開発に特化したメニューを新設。	3/4以内	100万円	食品開発の場合 限度額30万円
市場開拓 支援事業	展示会等の出展・開催。 ○新製品・新技術に関わらず対象とする。	1/2以内	50万円	海外での出展 20万円を加算
	ホームページ・パンフレット作成。 ○新製品・新技術に関わらず対象とする。		30万円	外国語版作成 10万円を加算
	公的商談会等への派遣等。 ○新製品・新技術に関わらず対象とする。		5万円	海外への派遣 5万円を加算
ものづくり 創業支援事業	ものづくりに関する事業展開のための事業所経費の一部を助成。 ○補助対象を新分野への事業展開から、ものづくり関連業種へ変更。	1/2以内	5万円/月	
ものづくり 技術・技能習得 研修支援事業	先進技術・技能等習得のための技術者派遣、専門技術者の招聘 ○補助限度額を増額。	1/2以内	40万円	
ものづくり 資格取得支援事業	製造業に係る技能士等の資格の取得。 ○対象資格を技能士以外にも拡大。 ○補助限度額を増額。	1/2以内	10万円	
※新設メニュー 検査測定支援事業	○公設試験研究機関の行う検査・測定機器の使用料の一部を助成。	1/2以内	5万円	

事業メニューは上記の8項目。各メニューで補助事業内容、対象、限度額が異なります。詳しくは、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

産学官連携支援事業

1. フロンティア技術検討会の開催

テクノセンターの基本4事業の1つであります「産学官連携支援事業」で、室蘭工業大学との共催により、「企業のリスク管理の考え方とその実践」をテーマに講演会を開催しました。

講演会



指田氏

○開催日 平成23年10月19日（水）

○開催場所 中嶋神社「蓬峽殿」

○講演内容 演題1：「企業のリスクマネジメントについて」

講師：東京海上日動リスクコンサルティング（株）
指田 朝久氏

演題2：「中小企業の事業継続計画（BCP）について」

講師：東京海上日動リスクコンサルティング（株）
川原場 正義氏

演題3：「事故からの克服とその後のリスク管理」

講師：（株）西野製作所
代表取締役社長 西野 義人氏



川原場氏



西野氏

○参加者 104名

○主催 室蘭地域産学官連携事業実行委員会（構成：室蘭テクノセンター、室蘭工業大学 CRD センター・同研究協力会、産学交流プラザ「創造」）

2. 企業技術・製品展示会の開催

地域で培われた地元企業の技術と製品を市民に公開し、室蘭地域の「ものづくり力」を実感してもらう「西いぶりの企業力2011 震災応援物産展」を開催しました。

○開催日 平成23年11月20日（日）

○開催場所 室蘭市市民会館

○開催内容 企業展示会

○主催 （社）北海道中小企業家同友会西胆振支部

○共催 室蘭テクノセンター



3. 産学官連携支援室

産学官連携支援コーディネーターにより室蘭工業大学と企業との産学連携の促進と外部資金獲得のための大学シーズピックアップとコーディネートを行いました。

- | | |
|--------------------------|-----|
| ①開発の芽育成支援事業に係る大学との共同研究 | 2件 |
| ②大学と地域企業との仲介に関する研究室訪問・相談 | 67件 |

4. ビジネスEXPO（北海道 技術・ビジネス交流会）

毎年、秋に開催されるビジネスEXPO「第25回 北海道 技術・ビジネス交流会」に参加し、地域企業の技術や製品等のPRを行いました。

- 開催日 平成23年11月10日（木）、11日（金）
- 開催場所 アクセスサッポロ（札幌市白石区）
- 出展企業 5社



5. 「移動工業試験場 in 室蘭」開催

- 開催日 平成23年9月9日（金）
- 開催場所 室蘭テクノセンター
- 主催 北海道立総合研究機構
- 共催 室蘭テクノセンター

環境関連産業の振興を目的に、道内企業に環境関連の新たな製品づくりや事業おこしを促進することとしており、その一環として道内の環境に関心ある事業者等を対象に、環境関連の研究成果や情報提供を行いました。

- (1)レアメタルのリサイクル
室蘭工業大学 もの創造系領域
助教 葛谷 俊博
- (2)リサイクルのための粉砕処理技術
北海道立総合研究機構 工業試験場
環境エネルギー部 内山 智幸
- (3)都市鉱山からのレアメタルリサイクル
北海道立総合研究機構 工業試験場
環境エネルギー部 富田 恵一

6. 地域新ビジネス創出システム推進事業

産業創出の推進を図るため、地域のニーズや素材を元にしたビジネス化のアイデアを掘り起こすとともに、企業等が発案した取り組みについて、開発、事業化及び販路開拓等を幅広く支援しながら産学官連携による新たな地域産業を創出しました。

- ①地域産業プロデューサーの配置
(ビジネスコーディネーターが兼務) 3名
- ②産業創出の芽の発掘・プロジェクト化への企画検討プロデュース
(試作、開発企画、市場調査含む)
プロデュース実施テーマ 2件



▲ 開発された大型クラゲの除去装置

7. 産学交流事業

産学交流プラザ「創造」会員相互の企業情報交換や室蘭工業大学の教員との交流を行い、人的ネットワークの形成と新たな共同研究発掘のため、同プラザの運営支援を行いました。

■平成23年度の「創造」の活動状況

4/12	企業紹介・情報交換会	27名参加	北海道電力(株)室蘭支店の企業概要を紹介
5/10	企業紹介・情報交換会	26名参加	北海道エア・ウォーター(株)の企業概要を紹介
6/14	企業紹介・情報交換会	24名参加	みぞぐち事業(株)の企業概要を紹介
7/12	企業紹介・情報交換会	33名参加	北海道曹達(株)の企業概要を紹介
8/19	ものづくりテクノフェア見学会	17名参加	
9/6	企業紹介・情報交換会	32名参加	(株)西野製作所の企業概要を紹介
9/13	企業見学会	41名参加	北海道電力(株)伊達発電所・京極発電所見学会
10/12~13	他地域企業視察会(帯広・十勝清水方面)	北海道バイオエタノール(株)、東洋農機(株)、(株)土谷特殊農機具製作所の3社	21名参加
11/8	企業見学・情報交換会	23名参加	(株)五嶋金属工業を見学
11/17	室蘭工業大学シーズ発表会	17名参加	
12/6	企業見学・情報交換会	22名参加	室蘭高等技術専門学院、アオキ製作(株)を見学
2/21	企業見学・情報交換会	28名参加	(株)西野製作所を見学
3/21	企業見学・情報交換会	28名参加	興和工業(株)を見学



北海道電力(株)見学会



他地域企業視察会(帯広市・東洋農機(株)にて)

経営支援事業

1. 技術・経営、特許相談

財団のビジネスコーディネーター、特許相談員、室蘭市産業振興システムタイザーなどの専門家による技術・経営等の相談指導、各種支援制度の紹介及び申請指導を行うほか、大学・研究機関への仲介を行いました。

2. 地域企業訪問ヒアリング

①企業経営者・管理者との面談により、企業ニーズの収集を行ったほか、技術開発、製品開発に向けた意向調査を行いました。

○訪問企業数 55社（製造業32社、卸売業1社、サービス業11社、その他11社）

②主な要望

- 研究開発補助金・助成金のコーディネート及び指導
- 人材の育成・教育、情報提供
- 市場開拓に対する支援、情報提供
- 各種講演会・講習会の開催、情報提供
- 共同研究、技術指導に関する産・学・官への仲介

3. 省エネ診断

企業における省エネ対策は、コスト削減、企業イメージの向上などに繋がります。平成23年度は、前年度に実施した省エネ診断の中から「酒類小売業」「建築資材卸売業」「ホテル・サービス業」「機械部品製造業」の4業種について、「中小企業の省エネ診断事例集」として小冊子にまとめました。

また、実際の省エネ診断は、室蘭地域の機械部品製造業と、登別地域にあるアスファルトプラントの2箇所で行いました。前者の診断結果は、蛍光形水銀灯のセラミックメタルハイドランプへの交換、デマンド監視制御装置の導入、受電端力率の改善、コンプレッサー吐出圧の低減対策などにより、期待効果として、年間省エネ率8.0%、コスト削減額1,033千円、CO₂排出削減量4.1%に相当する提案を行いました。また、後者の診断結果は、ドライヤー希釈空気量改善、排風機へのインバーター導入、高効率変圧器の採用などにより、期待効果として、年間省エネ率3.7%、コスト削減額2,822千円、CO₂排出削減量3.2%に相当する提案を行いました。

4. 中小企業早期再生支援システム構築事業

北海道の受託事業として、中小企業の経営安定の取り組みを強化するため中小企業の直接相談や、信用金庫などの金融機関と連携した経営悪化の初期段階における、各種施策の活用について支援しました。

- ・再生支援マネージャーの配置、及びセミナーの開催
- ・経営相談の段階的対応

○平成24年度からの経営相談窓口のご案内

相談窓口の定期開設日：毎週水曜日、午後1時～午後5時

相談窓口では、専門マネージャーが、経営革新・事業計画など、経営上の相談に幅広く応じています。定期開設日以外でもスタッフが相談を受け、専門のマネージャーなどに連絡の上、問題解決に向けた取り組みを進めることもできますので、お気軽にご相談ください。

5. 新事業展開等支援体制構築事業

北海道の受託事業として、新事業展開や新分野進出を目指す中小企業を積極的支援しました。

- ・インキュベーションマネージャーの配置
- ・各種セミナーの開催

①室蘭地域経営支援セミナー

ドラッカー哲学から考えるリーダーの条件
～時代の変化を脅威から機会に変える方法～

○内 容

変化の激しい現在において、企業経営の重要な各種要素を中心に脅威を機会に変えて新たな事業展開を図るために必要な要素などについて講義しました。

○日 時 平成23年11月24日 14:00～16:30

○参加者 21名

○会 場 室蘭テクノセンター2階研修室

○講 師 株式会社ヒューマン・キャピタル・マネジメント
代表取締役社長 土井 尚人氏



室蘭地域経営支援セミナー

6. 室蘭職業訓練協会受託事業

『職業訓練法人 室蘭職業訓練協会』の受託事業として、協会加盟の建築・塗装・板金・左官・電気事業組合の各団体に所属する会員の技能向上訓練を主目的として、技術・技能修得や各種資格取得等技能者の養成を支援します。

国からの受託事業

1. 戦略的基盤技術高度化支援事業

経済産業省の受託事業で、下記のとおり平成22年度に引き続き実施しました。

平成21年度採択	
研究開発テーマ	熱処理の後工程処理後における変寸のばらつきを低減する熱処理技術の開発
研究内容	多くの産業において重要な要素技術である熱処理と後工程を連携して変寸発生メカニズムを解明し、不良現象を抑制する熱処理技術を確立するため、供試体等によるデータの収集を実施
共同研究機関	室蘭ヒート㈱、㈱ダイナックス、北海道立総合研究機構工業試験場
実績額	2.1千万円

● 室蘭テクノセンタースタッフの支援

室蘭テクノセンターには、技術や経営に関する相談に必要なビジネスコーディネーターなどの専門のスタッフがいます。

私たちスタッフが室蘭地域の中小企業が抱える様々な課題解決のお手伝いをします。

●^{あんざわ}安澤総括アドバイザー

各種の設備技術開発、新規事業開発等に資する助言・指導を行っています。地域新ビジネス創出システム推進事業及びものづくり創出支援事業では、課題解決に必要なシーズを提案して指導することにより「雑海藻除去装置開発」と「酸化セリウム研磨剤回収装置開発」の実用化に目処をつけると共に、「蓄熱電気暖房器放熱量制御装置開発」は、商品化まで推進させました。また、昨年度、事業化した「研磨剤リサイクル装置」「大型クラグ除去装置」は、新たに発現した課題の解決方法を助言・指導することにより、売上高は増加しております。省エネ診断事業は、地元中小企業2社の診断を行い、省エネ率4～8%の対策案を提示すると共に、苫小牧地域雇用創造推進協議会の「省エネ技術者育成講習会」の講師を務めました。市場開拓支援事業では、ノーステック財団から依頼された圏外の企業支援、及び大田区産業振興協会との連携による地元企業の受注拡大を支援しました。

●^{かみで}上出ビジネスコーディネーター

普段の仕事の中でこんなことができれば効率が上がるのに、と感じられていることはありませんか。

前職で関係した分野は金属材料、材料の環境脆化および触れた分野は融体加工（鋳造、溶接）、機械加工（切削、研削）、塑性加工（鍛造、圧延、深絞り）です。

お持ちの課題をぶつけてみませんか。話し合いの中で問題が整理され、答えが見えてくるかもしれません。お気軽に相談下さい。

●^{むらかみ}村上ビジネスコーディネーター

中小企業様の活性化・地域起こしの先兵として室蘭・登別・伊達3市内の企業訪問を通し、企業のニーズの把握や技術に関する相談事など、これまで40年以上にわたって機械設計や会社経営、人材確保に携わってきた知識と経験によりアドバイスします。気軽に来訪、電話等で相談下さい。中小企業に希望と明るさを与えます。[住まいと遊びは室蘭地域、仕事は東京・世界中で!!]

●^{ありた}有田再生支援マネージャー

中小企業の経営安定や革新への取り組みを強化するため、中小企業の直接相談や金融機関と連携した各種施策の活用について支援しています。23年度は経営相談の段階的対応など21件について対応しました。

●^{おがさわら}小笠原インキュベーションマネージャー

新事業展開や新分野進出を目指す中小企業の事業戦略やプランニングづくり等の相談受付やアドバイス等の個別支援を行っています。

[※インキュベーション：新しい事業を創る]

賛助会員を募集しています！

当財団では、多くの方々のご賛同、ご支援をいただきながら、室蘭地域における中小企業振興を目的とした各種事業を展開していくため、企業・機関・団体の皆様に賛助会員の募集を行っております。

賛助会員に加入いただきますと、支援情報をタイムリーにお届けするなど、支援サービスをよりご活用いただけます。

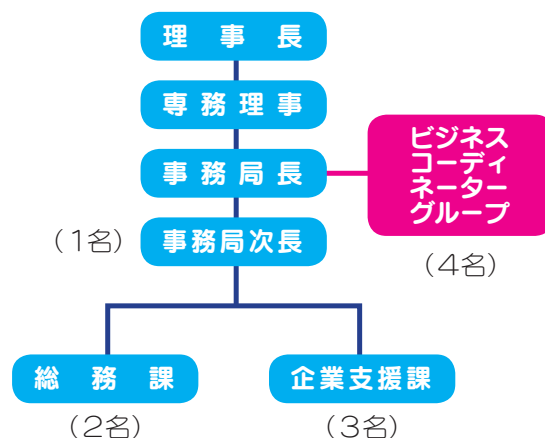
入会ご希望の方は、賛助会員加入申込書を送付いたしますので、お問い合わせください。

当財団の趣旨に賛同し、是非賛助会員として加入いただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

会費：年会費 〈1口〉2万円

当財団の組織体制をお知らせします

平成24年4月1日現在



※ビジネスコーディネーターグループの1名は企業支援課主幹が兼務。
※事務局長は専務理事が兼務。

公益法人制度改革に伴う公益財団法人への移行について

平成20年12月1日、「民間による公益の増進」を目的に公益法人制度改革3法が施行され、当財団を含む従来の公益法人は、法律施行後5年以内に公益財団又は一般財団への移行が義務付けられました。

当財団におきましても、これまで類似支援機関との情報交換や他の公益法人の移行状況等を参考に、指導官庁である道とも協議を行いながら、検討を重ねてきました。

公益も一般も、それぞれメリット、デメリットがありますが、基本財産の運用等において税制上の優遇措置を多く受けられる公益への移行が最良と受け止め、現在、平成25年4月の移行を目指し、理事会・評議員会・事務局が一体となりまして、公益財団法人への移行準備を進めております。今後とも、賛助会員、各関係機関の皆様のご理解をお願いします。

平成24年度のフロンティア技術検討会の開催が決まりました！

1. 開催日～平成24年10月23日（火）
2. 会場～中嶋神社「蓬峯殿」
3. 講演テーマ～「エネルギー戦略と省エネの対策及び実践について」

※詳細については、ポスター、チラシ等でご案内します。